

## ジベレリンの樹体注入による結実促進について

福岡県林業試験場      長      浜      三 千 治  
加      藤      岩      男

### 1. はじめに

スギ採種園も既に結実が始まり、その使用クローン中に結実しないものもあるので、ジベレリン樹体注入による結実促進を行ってその効果を検討した。

### 2. 実施内容

#### (1) 試験場所

福岡県八女市川崎 県犬山採種園  
福岡県三井郡小郡町 県小郡採種園

#### (2) 材料と方法

使用クローン 八女3号 八女9号 八女12号  
浮羽5号 糸島1号

#### 注入処理方法

1 6月20日      2 7月20日      3 8月20日  
3時間にわけて、それぞれ1回づつ20cc注入した。

#### (3) 濃度および本数

1 ジベ濃度 A. 1000 B. 500 C. 200  
D. 100PPM O. 対照木  
2 本数 各処理別 2本宛  
延本数 2本×4処理×3時間×5クロー  
ン 計120本 対照木 犬山採種園 10本 小  
郡採種園 15本 合計145本

### 3. 結果と考察

(1) 供試木の育成調査 ジベ樹体注入処理が、供試木

別表 毎月の伸長量

区 分	6月現在	同	6~7月	7~8月	8~9月	9~10月	10~11月	11~12月	6~12月
	直径 mm	樹高 cm	伸長量 cm	〃 cm	〃 cm	〃 cm	〃 cm	〃 cm	〃 cm
クローン									
八女3号	1,703	8,360	810	495	195	65	50	25	1,640
〃 9号	1,632	9,108	717	370	180	45	45	35	1,292
〃 12号	1,881	8,316	804	305	160	100	35	42	1,446
浮羽5号	983	3,950	445	370	290	95	20	10	1,130
糸島1号	1,786	9,618	1,077	480	305	95	25	30	2,012
時 期									
1	2,497	11,933	1,317	590	330	80	40	30	2,387
2	2,391	12,120	1,170	570	415	100	65	57	2,377
3	2,382	11,923	1,057	555	330	190	60	45	2,237
0	695	3,276	309	105	55	30	10		519
処 理									
A	1,813	8,944	851	430	330	90	30	47	1,778
B	1,807	9,083	942	405	315	115	50	50	1,877
C	1,839	8,876	914	470	200	50	70	20	1,724
D	1,821	9,173	837	410	230	115	15	15	1,622
計	7,975	39,352	3,853	1,820	1,130	400	175	142	7,520

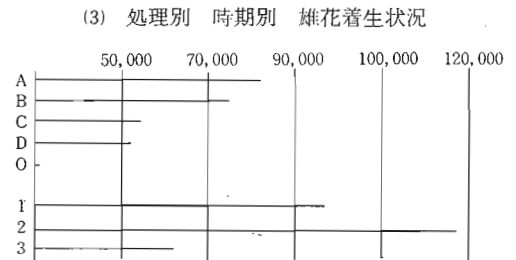
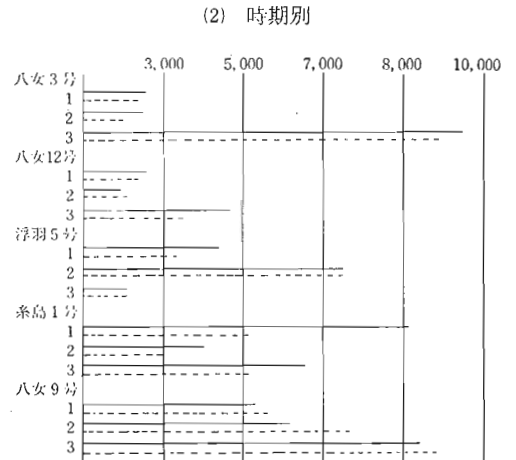
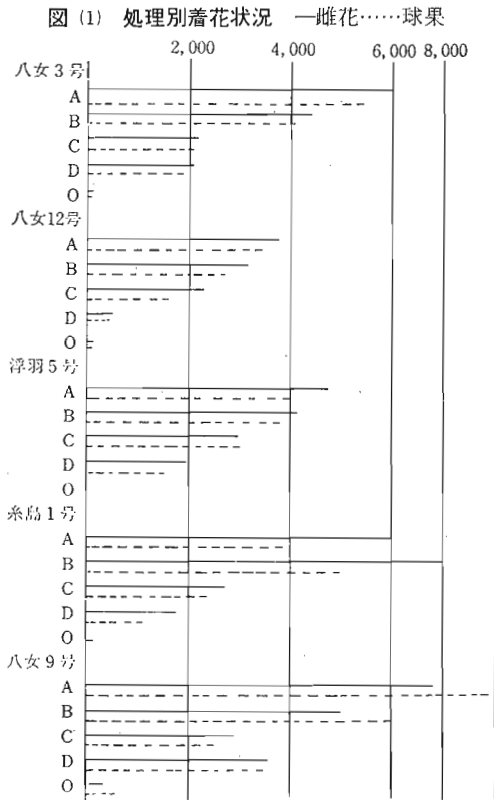
註 クローン別は26本合計値  
時 期 別は40本〃〃  
処 理 別は30本〃〃

の成育に影響するかどうかを、44年6月から12月まで毎月10日前後に樹高調査を行なって伸長量を求めたが、7月20日頃に1000PPMの高濃度を注入すると、1ヶ月から2ヶ月後に他に比べて伸長する傾向があり、冬季の凍霜害を受けるおそれがある。(別表参照)

(2) 雌花, 雄花着生数調査

小郡採穂園対照木15本を含めて、145本の個体別着花調査を行なった。調査結果は第1図1.2.3.の通

りて注入処理を行なえば雌花雄花の着生が多くなる。特に8月20日頃の500PPM以上の濃度を注入すると花が多く、7月20日頃500PPM以上の濃度を注入すると雄花が多く着生した。ただしクローンによって差があり、浮羽5号は7月20日処理では雌花が多く着生し、糸島1号は6月20日処理では雄花が多く見られた。以上を考察すると8月20日頃500PPM以上の濃度のものを注入すると雌花の着生が多くその効果があると思われる。



## スギの発根能力に関する調査

### 1 空中とり木におけるクローン間の発根のちがいは

佐賀県林業試験場 原 信義  
山口 和行

#### はじめに

精英樹クローンのさし木における発根は 0~90%

の範囲でクローン間のばらつきが大きい。このことは生理上にも問題はあるが、おもな原因は遺伝的特性によると思われる。